



平成28年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年11月9日

上場取引所 名

上場会社名 株式会社 NITTOH

コード番号 1738 URL <http://www.nittoh-info.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 中野 英樹

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理部長 (氏名) 伊藤 寿朗

TEL 052-915-3210

四半期報告書提出予定日 平成27年11月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第2四半期の連結業績(平成27年4月1日～平成27年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第2四半期	3,687	11.4	196	98.6	209	85.7	137	91.7
27年3月期第2四半期	3,309	△0.2	98	△52.7	112	△47.4	71	△42.8

(注) 包括利益 28年3月期第2四半期 137百万円 (88.7%) 27年3月期第2四半期 72百万円 (△39.6%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第2四半期	33.96	—
27年3月期第2四半期	17.71	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年3月期第2四半期	4,246	2,612	61.5
27年3月期	4,102	2,515	61.3

(参考) 自己資本 28年3月期第2四半期 2,612百万円 27年3月期 2,515百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	—	—	10.00	10.00
28年3月期	—	—	—	—	—
28年3月期(予想)	—	—	—	11.00	11.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年 3月期の連結業績予想(平成27年 4月 1日～平成28年 3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
通期	7,456	8.8	347	44.1	367	38.0	218	13.7
								円 銭
								53.77

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 有
- ② ①以外の会計方針の変更： 無
- ③ 会計上の見積りの変更： 無
- ④ 修正再表示： 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

28年3月期2Q	4,060,360 株	27年3月期	4,060,360 株
28年3月期2Q	5,723 株	27年3月期	5,678 株
28年3月期2Q	4,054,674 株	27年3月期2Q	4,055,004 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	4
4. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	7
四半期連結包括利益計算書	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間のわが国経済は、各種経済政策を背景として、企業業績、雇用・所得環境の改善傾向が続いており、緩やかな回復が見込まれる状況で推移いたしました。

当社グループの中心となっている住宅建築業界におきましては、住宅ローンの金利優遇、住宅取得資金に対する税制、省エネ住宅ポイント制度など諸施策が継続、拡大され、持ち直し傾向ではあるものの、本格的な回復には至りませんでした。

このような経済状況のもとで、当社グループの建設工事業において、既設住宅向けのガス設備機器の取り替えや家庭用燃料電池の設置工事の増加、中規模建設物のリフォームや改修防水の件数が増加、また、大規模新築防水工事を受注したことにより、堅調に推移いたしました。

住宅等サービス事業では、床下環境改善の防湿商品の販売は低調であります。既設住宅や集合住宅向けのシロアリ再予防工事の件数増加により、業績は伸長いたしました。

ビルメンテナンス事業では、既存受託物件の維持管理コスト低減は加速しており、作業回数の削減や順延、請負単価の低価格化への要請が続いております。販管費の減少により、利益面は改善いたしました。業績確保は厳しい状況となりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は3,687百万円(前年同四半期比11.4%増)、営業利益は196百万円(前年同四半期比98.6%増)、経常利益は209百万円(前年同四半期比85.7%増)、親会社株式に帰属する四半期純利益は137百万円(前年同四半期比91.7%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べて143百万円増加し、4,246百万円となりました。主な増減は、現金及び預金の増加130百万円、売掛債権の増加22百万円があったものの、建物及び構築物の減価償却による減少10百万円があったことによるものであります。

負債は、前連結会計年度末に比べて46百万円増加し、1,634百万円となりました。主な増減は、未払法人税等の増加88百万円があったものの、長期借入金の減少25百万円及び仕入債務の減少21百万円があったことによるものであります。

純資産は、前連結会計年度末に比べて96百万円増加し、2,612百万円となりました。主な増減は、利益剰余金の増加97百万円があったことによるものであります。

(キャッシュ・フロー状況の分析)

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下、「資金」という。)は、131百万円増加(前年同四半期は144百万円増加)し、当第2四半期連結会計期間末には1,140百万円(前年同四半期は1,003百万円)となりました。

当第2四半期連結累計期間に係る区分ごとのキャッシュ・フローの状況は以下のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における営業活動による資金の増加は、200百万円(前年同四半期は247百万円の増加)となりました。これは、主に税金等調整前四半期純利益209百万円に加えて、法人税等の還付額53百万円及び完成工事補償引当金の増加額20百万円があったものの、法人税等の支払額40百万円、売上債権の増加による資金の減少22百万円、仕入債務の減少による資金の減少21百万円があったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における投資活動による資金の減少は、3百万円(前年同四半期は2百万円の増加)となりました。これは、主に定期預金の払戻による収入29百万円及び保険積立金の解約による収入10百万円があったものの、定期預金の預入による支出27百万円、保険積立金の積立による支出10百万円、貸付けによる支出5百万円があったことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における財務活動による資金の減少は、65百万円(前年同四半期は104百万円の減少)となりました。これは、主に配当金の支払額40百万円及び長期借入金の返済による支出25百万円があったことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当四半期におきましては、ほぼ計画どおりに業績が推移しておりますので、平成27年5月8日発表の業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

(企業結合に関する会計基準等の適用)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日)、「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日)及び「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日)等を第1四半期連結会計期間から適用し、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第2四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,043,700	1,174,557
受取手形及び売掛金	871,970	894,506
たな卸資産	362,220	369,480
その他	127,567	117,851
貸倒引当金	△5,504	△5,364
流動資産合計	2,399,954	2,551,030
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	468,327	457,420
土地	937,767	937,767
その他（純額）	7,135	6,813
有形固定資産合計	1,413,231	1,402,001
無形固定資産		
その他	9,406	9,036
無形固定資産合計	9,406	9,036
投資その他の資産		
その他	282,621	284,840
貸倒引当金	△2,253	△390
投資その他の資産合計	280,368	284,450
固定資産合計	1,703,006	1,695,488
資産合計	4,102,960	4,246,518

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	583,476	561,973
短期借入金	115,000	115,000
1年内返済予定の長期借入金	50,400	50,400
未払法人税等	—	88,788
賞与引当金	80,002	91,860
完成工事補償引当金	12,900	33,100
その他	252,633	216,685
流動負債合計	1,094,412	1,157,807
固定負債		
長期借入金	36,600	11,400
退職給付に係る負債	258,886	269,085
長期未払金	23,840	23,840
その他	173,764	172,011
固定負債合計	493,090	476,336
負債合計	1,587,503	1,634,143
純資産の部		
株主資本		
資本金	186,072	186,072
資本剰余金	145,813	145,813
利益剰余金	2,154,663	2,251,802
自己株式	△1,241	△1,260
株主資本合計	2,485,307	2,582,427
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	29,707	30,252
その他の包括利益累計額合計	29,707	30,252
非支配株主持分	443	△304
純資産合計	2,515,457	2,612,375
負債純資産合計	4,102,960	4,246,518

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)
売上高	3,309,049	3,687,598
売上原価	2,394,212	2,683,141
売上総利益	914,836	1,004,457
販売費及び一般管理費	815,952	808,065
営業利益	98,884	196,392
営業外収益		
受取利息	99	114
受取配当金	621	1,459
受取手数料	1,296	2,448
受取保険金	3,524	3,383
受取賃貸料	7,449	5,818
その他	4,279	3,159
営業外収益合計	17,270	16,383
営業外費用		
支払利息	800	505
賃貸費用	2,173	2,300
その他	312	426
営業外費用合計	3,286	3,232
経常利益	112,867	209,543
特別利益		
固定資産売却益	4,980	—
特別利益合計	4,980	—
税金等調整前四半期純利益	117,848	209,543
法人税、住民税及び事業税	42,513	94,067
法人税等調整額	4,493	△21,461
法人税等合計	47,006	72,605
四半期純利益	70,841	136,937
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△963	△747
親会社株主に帰属する四半期純利益	71,805	137,685

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)
四半期純利益	70,841	136,937
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	2,024	545
その他の包括利益合計	2,024	545
四半期包括利益	72,866	137,482
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	73,829	138,230
非支配株主に係る四半期包括利益	△963	△747

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

	(単位:千円)	
	前第2四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	117,848	209,543
減価償却費	13,796	12,527
のれん償却額	4,687	—
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△2,580	11,858
完成工事補償引当金の増減額 (△は減少)	△1,400	20,200
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	11,486	10,199
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	1,558	△2,003
受取利息及び受取配当金	△720	△1,574
支払利息	800	505
有形固定資産売却損益 (△は益)	△4,980	—
売上債権の増減額 (△は増加)	222,150	△22,535
たな卸資産の増減額 (△は増加)	96,375	△7,260
仕入債務の増減額 (△は減少)	△176,979	△21,502
その他	75,114	△23,125
小計	357,156	186,832
利息及び配当金の受取額	720	1,574
利息の支払額	△752	△496
法人税等の支払額	△110,019	△40,960
法人税等の還付額	—	53,821
営業活動によるキャッシュ・フロー	247,104	200,771
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△34,556	△27,957
定期預金の払戻による収入	35,255	29,056
有形固定資産の取得による支出	△37,134	△927
有形固定資産の売却による収入	38,500	—
保険積立金の積立による支出	—	△10,367
保険積立金の解約による収入	—	10,919
貸付けによる支出	34	△5,300
貸付金の回収による収入	—	1,525
投資活動によるキャッシュ・フロー	2,099	△3,050
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△20,000	—
長期借入金の返済による支出	△27,480	△25,200
自己株式の取得による支出	—	△18
配当金の支払額	△56,770	△40,546
財務活動によるキャッシュ・フロー	△104,250	△65,765
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	144,954	131,955
現金及び現金同等物の期首残高	858,106	1,008,533
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,003,060	1,140,489

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第2四半期連結累計期間(自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	建設工事業	住宅等サービス事業	ビルメンテナンス事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	1,945,615	597,599	765,834	3,309,049	—	3,309,049
セグメント間の内部売上高 又は振替高	2,332	1,884	200	4,416	△4,416	—
計	1,947,947	599,483	766,034	3,313,465	△4,416	3,309,049
セグメント利益	46,415	109,354	51,203	206,972	△108,088	98,884

(注) 1. セグメント利益の調整額△108,088千円には、セグメント間取引消去14,359千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△122,447千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない当社の総務部等管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	建設工事業	住宅等サービス事業	ビルメンテナンス事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	2,309,419	640,234	737,945	3,687,598	—	3,687,598
セグメント間の内部売上高 又は振替高	950	1,524	295	2,769	△2,769	—
計	2,310,369	641,758	738,240	3,690,368	△2,769	3,687,598
セグメント利益	116,325	133,739	58,538	308,603	△112,211	196,392

(注) 1. セグメント利益の調整額△112,211千円には、セグメント間取引消去12,243千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△124,454千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない当社の総務部等管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。